



## 平成27年度 国土交通大臣表彰

モーダルシフトに加えた総合的なグリーン物流への取組  
～パレタイズ運用の標準化やドライバー不足に備えた  
ダイバーシティ物流ネットワークを指向して

### 事業者（◎：代表者）

- ・ 神戸モーダルシフト推進協議会◎
- ・ ネスレ日本株式会社
- ・ 全国通運株式会社
- ・ 日本貨物鉄道株式会社

### 事業概要

2012年より実施している、納品先顧客へ鉄道・内航海運・トラックを活用した直接配送する取組の更なる拡大へ向けた、輸送距離に応じた最適な配送モードの設定によるCO<sub>2</sub>削減の最大化、パレタイズ運用の標準化によるドライバーの配送効率の上昇や業務負荷低減を実現。また、保育施設の開放などにより女性・高齢者が働きやすい環境整備を進めている。

### 本取組のポイント

- 輸送距離に応じた最適な配送モード(トラック・鉄道・内航海運)の設定により、戦略的なモーダルシフトを実施し**大幅なCO<sub>2</sub>排出削減**
- **パレタイズ運用の標準化**による作業の効率化と生産性の維持・向上
- ネスレ日本関連施設における保育施設をドライバーに開放するなど、**女性・高齢者など多様な人材活用を可能とするダイバーシティ物流ネットワークの構築**

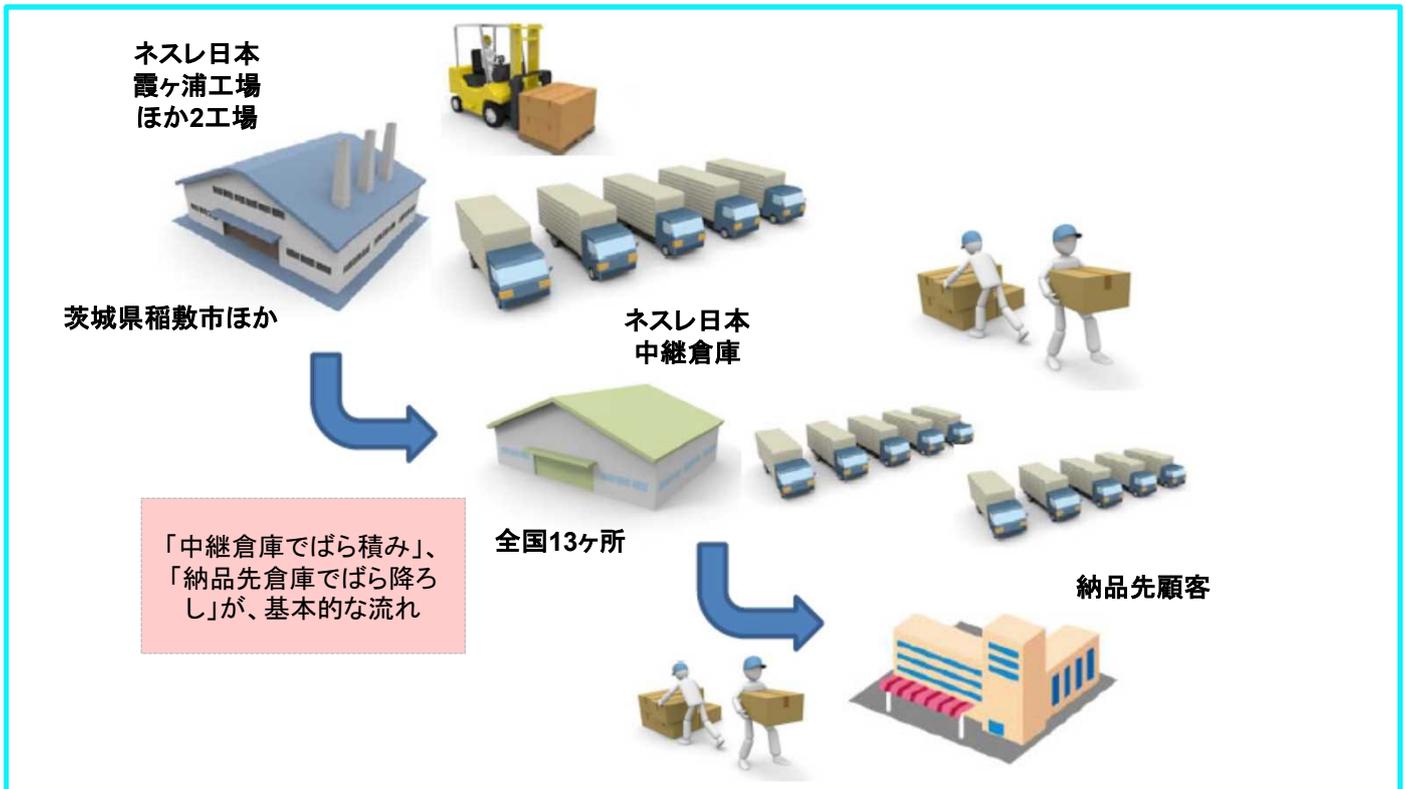
◎ CO<sub>2</sub>排出削減量 2,464.5トン

◎ CO<sub>2</sub>排出削減率 87.1%

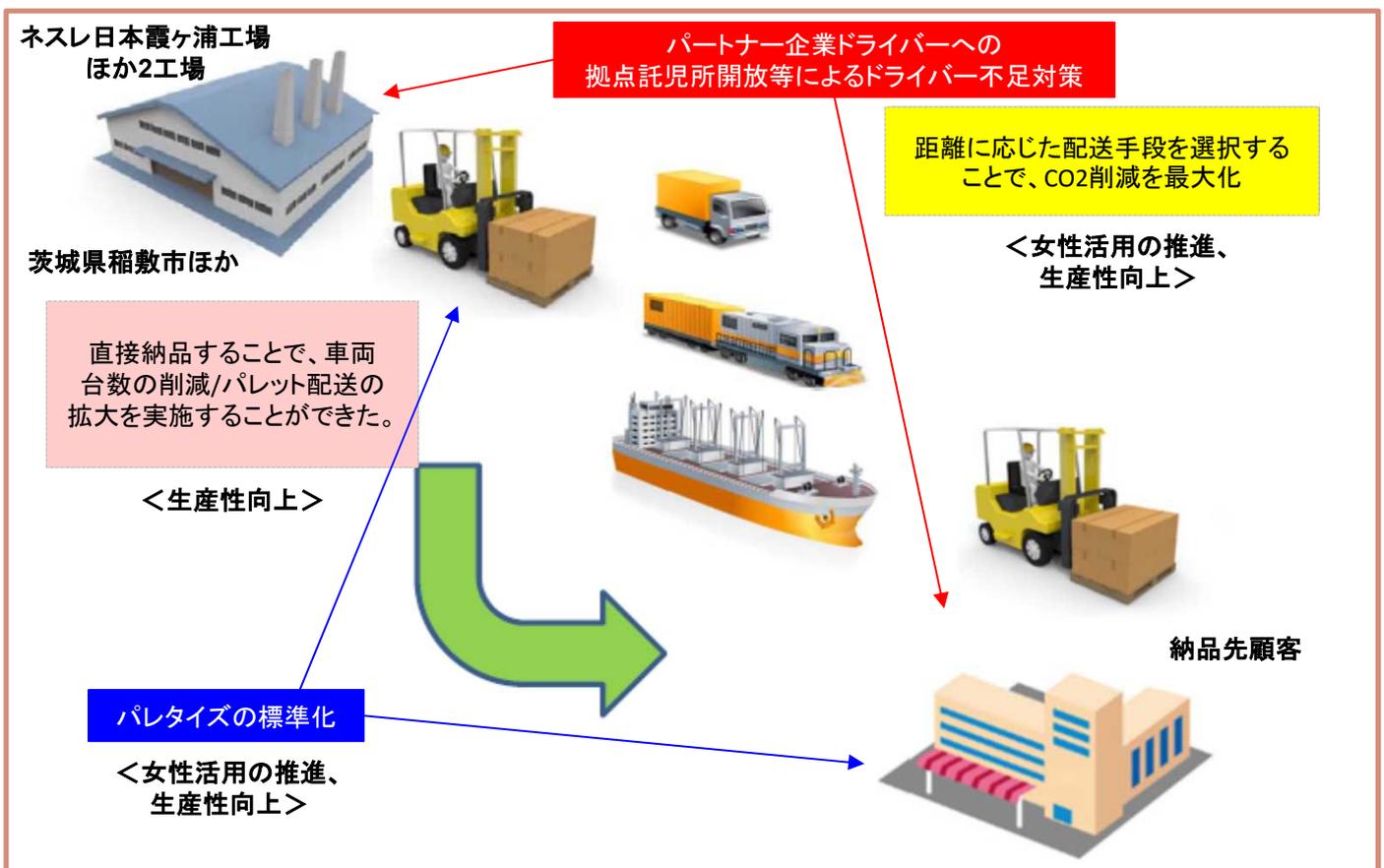


戦略的なモーダルシフト、パレタイズ運用の標準化、多様な人材の活用

## 実施前



## 実施後





## 平成27年度 国土交通省大臣官房物流審議官表彰

「幹線輸送の共同化」「施設利用の共用」「集配作業の共同運営」  
「ITシステムの共通化」による輸送事業の効率的運営及び  
CO<sub>2</sub>削減による環境負荷低減

### 事業者（◎：代表者）

- ・ トナミ運輸株式会社◎
- ・ 第一貨物株式会社
- ・ 久留米運送株式会社

### 事業概要

申請者3社により、合弁企業を立ち上げ、各申請者の「東京～大阪間」の特積み貨物の幹線輸送を合弁企業へ委託し集約化を図った。また、申請者間での「東北～九州間」「中京・東海～関東間」の共同運行や、コンテナ輸送によるモーダルシフト、配送業務の集約等、複合的な取組を実施。

### 本取組のポイント

- 申請者3社により、合弁企業を立ち上げ、「運営・システム等の共通プラットフォーム化」を図った。
- 合弁企業による特積み貨物の幹線輸送の集約化を実現すると同時に、一部区間でトラックから鉄道へのモーダルシフトを実施し、CO<sub>2</sub>排出量の削減、労働生産性の向上を複合的に推進した。

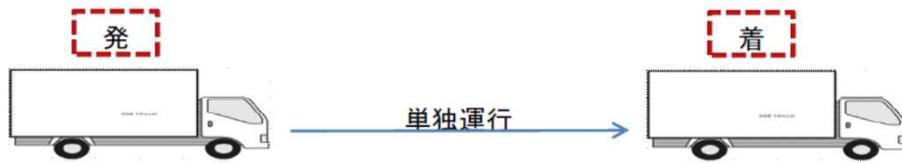
◎ CO<sub>2</sub>排出削減量 1,632.0トン

◎ CO<sub>2</sub>排出削減率 5.9%



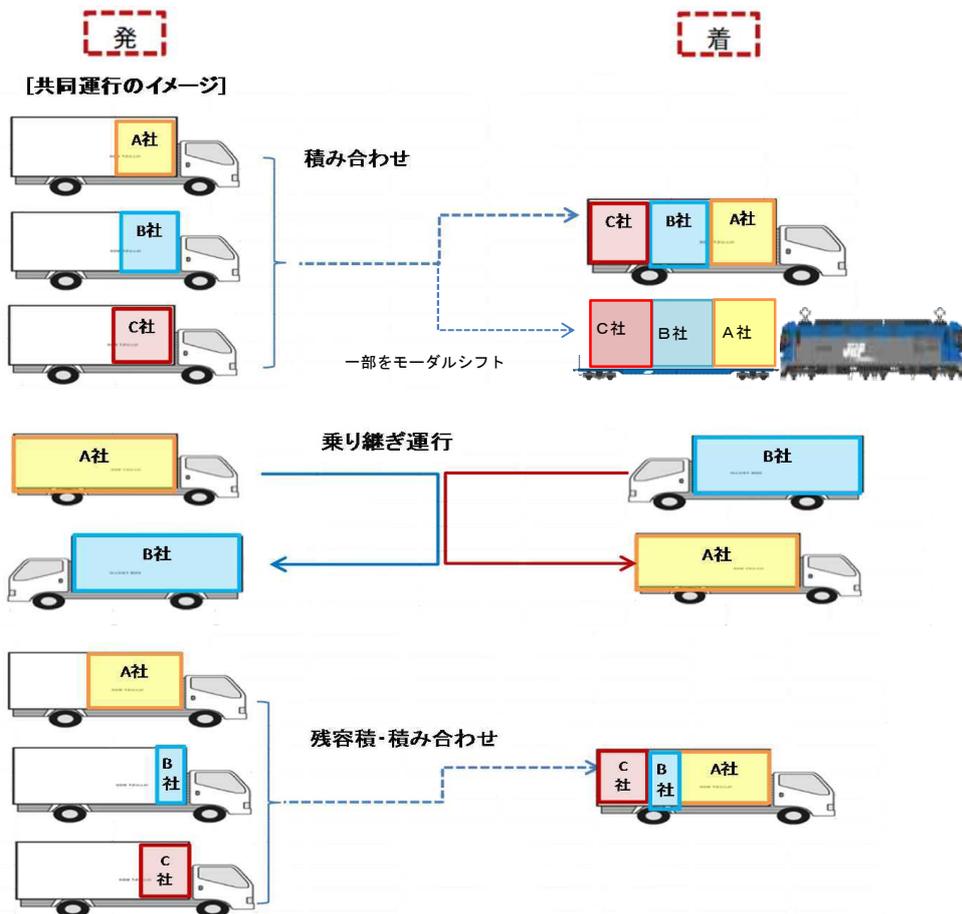
合弁企業を設立し、幹線輸送を集約するとともに、一部区間でモーダルシフトを実現

## 実施前



事業者ごとに運送事業を展開

## 実施後



1. 申請者3社により、**合併企業を立ち上げ**、「運営・システム等の共通プラットフォーム化」を図った。
2. 合併企業による特積み貨物の**幹線輸送の集約化を実現すると同時に**、一部区間で**トラックから鉄道へのモーダルシフトを実施**し、CO<sub>2</sub>排出量を削減。
3. 申請者3社で、共同運行や配送業務の集約等、各種の取組を推進した。



平成27年度 国土交通省大臣官房物流審議官表彰

## やまや商流の焼酎センター運営と 次世代モーダルシフトによる環境負荷低減の取り組み支援

### 事業者（◎：代表者）

- ・ やまや商流株式会社◎
- ・ センコー株式会社
- ・ 日本貨物鉄道株式会社
- ・ 小倉運送株式会社
- ・ 仙台運送株式会社
- ・ SBSロジコム株式会社
- ・ 日本石油輸送株式会社

### 事業概要

従来、九州内の各製造元から東北・関東等の配送センターへの輸送はトラックでの直接納品となっていた。転換後は、新たに福岡に設置する集約拠点への一括納品に切り換え、各製造元の貨物を福岡に混載集荷。

その後、集約拠点から東北・関東等の配送センターに鉄道で輸送を行うことにより、CO<sub>2</sub>排出量の削減を実現した。

### 本取組のポイント

- 新設拠点へ各製造元の貨物を集約化し、納品トラックの台数を削減
- 集約拠点から東北・関東の配送センターに鉄道で輸送を行うことにより、CO<sub>2</sub>排出量の削減を実現

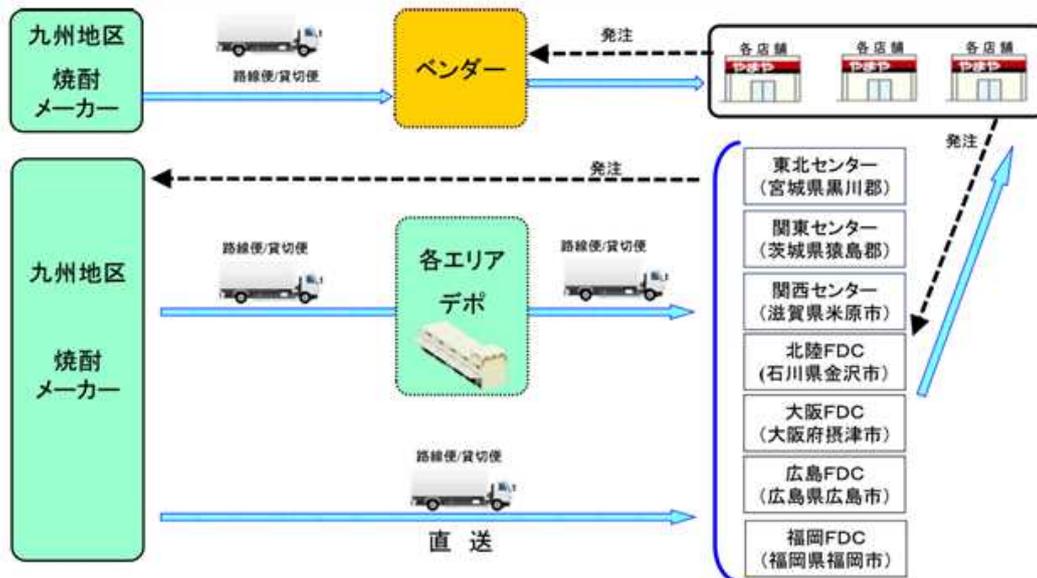
◎ CO<sub>2</sub>排出削減量 415.8トン

◎ CO<sub>2</sub>排出削減率 82.9%



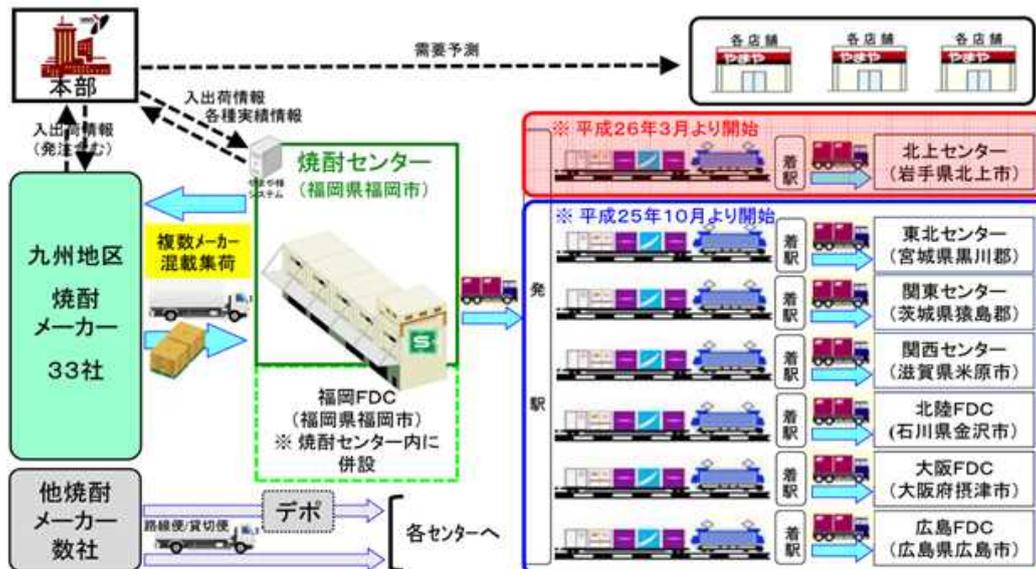
幹線輸送の集約化と、モーダルシフトを複合的に実現

## 実施前



九州内の各製造元から全国の配送センターへトラックで直接納品

## 実施後



1. 新たに福岡に設置する集約拠点への一括納品に切り換え、各製造元の貨物を福岡に混載集荷
2. 集約拠点から東北・関東等の配送センターに鉄道輸送を実施



## 平成27年度 グリーン物流パートナーシップ会議特別賞

### 海上輸送・鉄道輸送の利用による長距離ドライバー不足への対策 及び二酸化炭素排出量削減事業

#### 事業者（◎：代表者）

- ・ 日本通運株式会社◎
- ・ 富士フイルムロジスティクス株式会社
- ・ 商船三井フェリー株式会社
- ・ 日本貨物鉄道株式会社

#### 事業概要

静岡県と福岡県の間で輸送していた富士フイルム貨物及び資材を、トラックから海上輸送及び鉄道輸送に転換。CO<sub>2</sub>排出量を削減するとともに、トラックの大型化により輸送能力が上昇させ、さらにトラック走行距離減に伴いドライバーへの負担を軽減させた。

#### 本取組のポイント

- 海上・鉄道輸送へのモーダルシフトによるCO<sub>2</sub>排出削減
- トラック大型化による輸送能力の向上
- トラック走行距離の減少によるドライバーへの負担軽減

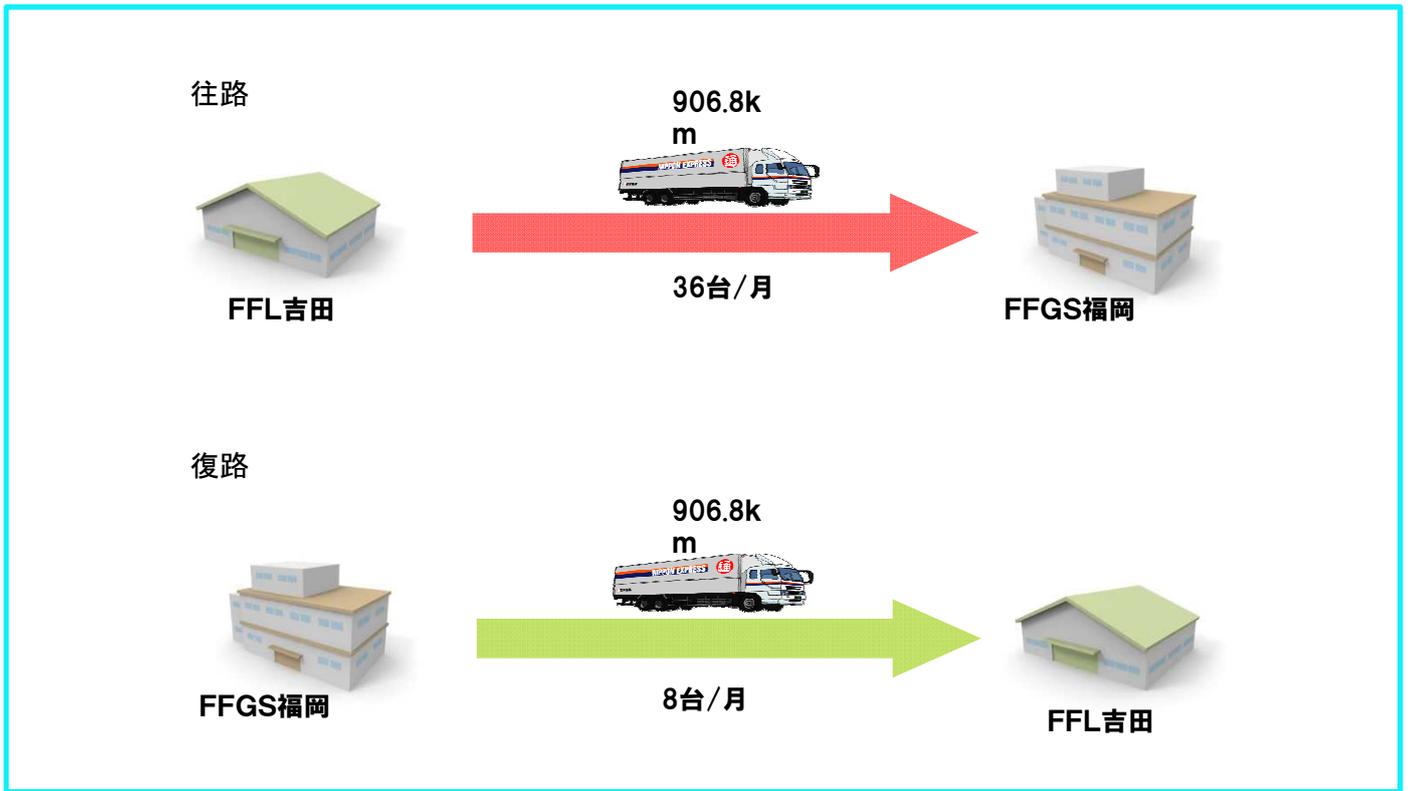
◎ CO<sub>2</sub>排出削減量 483.8トン

◎ CO<sub>2</sub>排出削減率 70.8%



鉄道貨物輸送と内航海運輸送を組み合わせたモーダルシフトを実現

# 実施前



# 実施後

